

事業計画書

団 体 名		NP0 法人ひらかた生物飼育部 LAB0
事 業 名 称		I C Tを活用した環境教育事業
事 業 実 施 期 間		(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) R7年 4月 1日 ～ R8年 3月 31日
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 枚方市をはじめとする生物多様性の保全
		(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 里山保全、生物調査、飼育研究をする中で、在来種とその生息地の急激な損失を実感し、里山の耕作放棄問題や外来生物問題など様々な生物多様性を取り巻く問題を、子ども世代を中心に広く市民に伝えたいと考えたため。
		(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 里地里山や湿地の減少と耕作放棄問題、それに関わる若者の減少、外来種問題等、市民の生物多様性に関する正しい知識や経験の少なさ。
		(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 特に子ども世代を中心に、広く市民に生物多様性やそれを取り巻く問題に対して興味と正しい知識を持ってもらい、生物多様性保全の担い手を育成する。
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 特に子どもや、生物や自然への知識が少ない市民に対し枚方市の身近な自然環境や保全活動、またそれらを取り巻く問題について、子どもや興味を持たない人にも届きやすい動画等 ICT(主にデジタルサイネージや SNS)を用いた普及・啓発を行い、市民の環境意識を高める。
		(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 ＜枚方市民への効果＞ (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の未来を担う子どもたちをはじめ、市民の科学的な知識や考え方を養い、枚方市の生物多様性保全に寄与することができる。 ・市民の行動変容、地域の活性化につながる。 ・第3次枚方市環境基本計画の目的達成に寄与することができる。 ＜確認方法＞(参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) 展示イベントの際などにアンケートを実施する。広報誌への掲載等も検討。
2. 事業内容等		(1) 事業の対象者(例：枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に) 枚方市駅周辺を利用する市民。特に子どもや、生き物の知識が少ない市民。 (2) 事業の実施場所(移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) ビオルネ駅前、Youtube, Instagram, X など各種 SNS (3) 事業内容 枚方市の身近な生き物や自然、里山や生物多様性保全、外来種問題など環境教育動画を枚方高校生物飼育部の高校生や、会員の小～大学生がチームとなって作成し、ビオルネ前大型モニター、各種 SNS で流すことで市民の生物多様性保全への意識を高め、行動変容に繋げる。動画の内容は特に子どもや生き物の知識が少ない人に向けた分かりやすく、ためになるものにする。

3. 実施スケジュール	（事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること）※添付も可 2025/2月3月～：動画の素材集め、科学的根拠の確認、取材、編集 2025/4月～2026/3月：3カ月に1回以上動画を更新し、ビオルネ前大型モニター＆各種SNSで流す。動画作成にあたっては、他の自然保護団体や行政、大学教授にもご助言いただく。 2026/2月～3月：アンケートの実施・集約・整理・次年度に向けた準備
4. 事業実施の体制	（1）人員体制（実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること） 動画作成チーム 2名（映像系学部所属大学生） デザインチーム 3名（農学部所属大学生含む） 生物調査＆取材スタッフ 13名（小学校教員1名、小～大学生含む） 環境教育監修チーム 2名（高校生物教諭、理学部大学生） （2）事業対象者の見込み数（例：参加者●名など現時点の想定人数を記入すること） 枚方ビオルネ前を利用する市民 40522人/日、SNSのフォロワー等 1000人 （3）その他の体制（寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること） 大阪府立枚方高校生物飼育部、里山の会穂谷、枚方いきもの調査会、大阪自然環境保全協会、市内小中学校
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	（賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること） ・前身団体である枚方高校生物飼育部との連携を密に行い、市内の自然保護を行う市民団体や法人とも連携していく。 ・市役所や市民活動支援センター主催イベントに積極的に参加し多くの市民の理解を得る。 ・SNSで普段の活動報告を行ったり、身近な生物多様性に関する情報を発信したりすることで、団体への賛同者を増やす。
6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	2022/7から穂谷地区で継続している耕作放棄水田プロジェクトでは、荒れて乾燥化の進んだ湿地を蘇らせ水辺の生物が生息できる環境を整えてきた。今後、生物多様性の保全と、穂谷地区の大切な文化である農業とを両立させる『生物多様性保全型農業』の実践の場としてこの場所を活用し、市民（特に若い世代）と生物多様性保全との懸け橋としての役割を、若い世代の多い団体である我々が担っていきたい。継続している希少両生類の生息数調査では、活動開始後から両生類の卵のう数や個体数の増加が顕著にみられている。枚方市内での生物調査の結果なども動画に反映する。
7. 事業のPR方法	（事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること） 各種SNSでの発信、チラシの製作、地元情報サイトへ広告依頼を行う
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 無し（本補助金のみ）
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	2023年度に『ひらラボ里山ユースプロジェクト2023』を活動応援基金により実施しました。2025年度は市民のフィールド体験を自己予算で実施予定です。

事業収支予算書

団体名：NPO法人ひらかた生物飼育部LABO

補助対象事業の名称：	ICTを活用した環境教育事業
------------	----------------

事業実施期間： R7年 4月～ R8年 3月

【収入の部】

項 目 ※1	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
枚方市補助金(一般) (A)	300,000	補助金交付申請額（一般寄附）
枚方市補助金(団体) (B)	140,000	補助金交付申請額（団体希望寄附）
自己資金	44,000	
合 計 (C)	484,000	

【支出の部】

項 目	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
補助対象経費	広告費	枚方ビオルネ大型モニター（防災モニター）使用料月22,000円×12カ月
	撮影、動画作成、投稿用物品購入費	動画作成・記録・投稿用ノートPC 185,000円（1台）、データ保存用外付けSSD1TB 15,000円（1台）、小型ドローン 20,000円（1台）
小 計 (E)	484,000	
補助対象外経費		
小 計	0	
合 計 (D)	484,000	

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計（C）＝支出の合計（D）となるように記入してください。

※3：枚方市補助金(一般) (A) は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
（詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること）※4：枚方市補助金(団体) (B) は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
（通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること）